

BUNTO

ぶんと通信

VOL.148
2023.6.1



うた ごころ
歌心をつないで

ピアニスト はし もと ひろ み
橋本 宏美 さん

TOPICS

歌心をつないで

さまざまホールでのステージにぼつんと置かれたピアノ。「ちよっと弾きましようか」とピアノリストの指が触れた。

橋本宏美さんの初めての音楽は幼稚園の頃に耳にした『エリーゼのために』。聴いたままに鍵盤をたたき、よくわからないところは勝手にアレンジをする姿に、両親は彼女の手をひいて音楽教室の扉を叩いた。小学六年間を音楽教諭でソプラノ歌手の前川圓先生のご自宅で学び、音楽大学ピアノ専攻を卒業してから現在までピアノから離れることはなく、ピアノ指導では未就学児から大人まで、高校の音楽の非常勤講師では学生、またコッキーズという合唱団の伴奏では七十歳以上と色々な世代の方々と音楽を通じてふれあってきた。

橋本 宏美さん

エンリガールのメンバーの久保田道子さん（ソプラノ）、藤原靖子さん（メゾソプラノ）とは上野市制60周年のイベントで恩師前川圓先生を介して出会って以来なんでも相談できる友達として仲良くしている。共通の師の名でもあり『縁』という言葉ともつながる『エン』とラテン語でつなぐ・結ぶ・絆という意味を持つ『Ligare（リガール）』で結ばれた三人の大切な思いは、圓先生から受け継いだ演奏における歌心を大切にすること。

「ピアノは、歌のように言葉がありません。普段私は言葉のないピアノという楽器を扱い、いかに音で音楽を伝えるか、語るかを日々模索しています。聴いてくださる方の心にすーっと、心地よく入っていきけるピアノを弾いて行きたいです」

音楽を通じて出会った人との縁、経験を糧として歌心を伝え、結び、繋げて行きたいと橋本さんは語る。

「今回のエンリガール・コンサートは歌とのアンサンブルに加え、ピアノのソロも弾かせて頂きます。会場でお待ちしてあります」

7月23日（日）はぜひ青山ホールに足をお運びください。

（文）広報事業委員 坂石佳音

写真 山口貴史

クラシック
コラム

オーケストラの日常

華やかな舞台の上で演奏するオーケストラの奏者たち。そんな奏者たちの表と裏。舞台における裏、舞台袖のことを今回はご紹介したいと思います。

まずコンサートが開演する前に舞台で「ゲネプロ」と呼ばれる最終リハーサルを行います。大阪交響楽団のゲネプロは本番の一時半前に終わり、舞台・会場のスタッフが最終調整をして、お客様の来場を待ちます。舞台袖は会場によって作りが異なり、舞台よりも袖の方が広いこともしばしば。そんな袖に奏者はそれぞれ居心地の良い場所を楽器ケースなどで確保し、ウォーミングアップをする人、その日演奏する曲の難しい部分のチェックをする人、なかには瞑想して集中力を高めたりしている人もいます。

より良い演奏をお届けするために本番前には、各々が色々と準備しておりますが、終演後は自分の楽器をしまつて撤収。これが何故だか全員めっちゃくちゃ速いんです。お帰りになるお客様より先に会場から出ることも。不思議なことに全国どのプロのオーケストラでも撤収は速い。

終演後、会場の外で奏者をご覧になりましたら、舞台袖で爆速で撤収してきた姿をどうぞご想像ください（笑）。



© 飯島 隆

大阪交響楽団
首席チェロ奏者
おおたに ゆういち
大谷 雄一

伊賀
盛り上げ隊

伊賀に魅せられて

「城下町で和を感じられること。家の雰囲気や街の風情が素敵で、人もあたたかい」

移住を決めた伊賀の良さをこう語る料理研究家のアントワヌ・リーさんと奥様の敬子さんにお話をうかがいました。

ベルギーのフランス語圏にあるリエージュ出身のアントワヌさん。若いころから日本料理に惹かれ、日本人が書いた懐石料理の本やインターネットから独学で和食の勉強をされたそうです。だからこそ作るこだわりの創作料理は、周囲の人をうならせるおいしさ。和食の魅力について、「フランス料理は具材を身身させる。和食は素材のシンプルさを活かしつつ、四季をちりばめ五感を使って食べるので落ち着く」と話されました。

ご自宅では本場のベルギーワッフルを日本の皆さんに知ってほしいという想いで、ウフティワッフルという屋号でワッフルを製造されています。ウフティはリエージュの方言で、「Wow」と同じ意味だそうです。「ウフティ！」と言ってもらえるようなワッフルを届けたいという願いがこめられています。

南伊勢町ご出身の敬子さんは、高校卒業後、アメリカの大学に進学され、薬学を勉強していた友人の影響からサイエンスや疫学を学ばれ、帰国後は製薬メーカーの営業・開発として活躍。現在はその経験を活かして医薬関係の日英翻訳業をされています。ご主人のことをおうかがいますと「舌の記憶力がすごくて、旅行先で食べた店の料理でもリクエストするとすぐに作ってくれる」と笑顔で話してくれました。

移住後の暮らしですが、伊賀の冬は思っていた以上に寒かったようで、すぐに家を改装され対策も万全。京都、大阪、奈良に近く、面白い人が多い伊賀を気に入っていたみたいです。

将来の夢は、ビストロのよう
な限られた席数で、季節によっ
て変わる日本料理、こだわりの
ワッフルやコーヒーのお店を、
伊賀ではじめることだそうです。
オープンの日が待ち遠しいです
ね。

アントワヌ・リーさん

おが
岡けい
敬子さん

(文) 広報事業委員 木宮康介

写真提供)

こだわり
人生乾杯

職人とアーティスト

伊賀市島ヶ原、山々に囲まれた住宅地にある東洋額縁画材。主に、オーダメイドの額縁を製作している会社だ。代表の和田誠之さんは、大学で彫金を専攻、卒業後に家業に入り額縁製作をしている。

額縁は主に木彫で製作されるが、箔加工を施したり、樹脂加工なども用いたりすることもするため、製作には様々な技術を要する。キャリア30年以上になる和田さんは、製作工程で多様な技術を習熟し、額縁製作の枠を超えて木工品や什器の製作も請け負っているという。さらには造形と金属工芸を教える大学講師でもある。

額縁製作には、依頼人の好み、こだわり、好きな色などをヒアリングして、飾る作品をいかに引き立てられるかに焦点を置く。和田さんは額縁を「裏方」という。華やかな額装よりも、あくまでも作品の裏方としての立ち位置を好む。実直で職人気質な一面を垣間見た一方で、和田さんが制作した造形作品やジュエリーを見て、アーティストとしての顔を知った。

額縁製作も個人の作品も、そのインスピレーションは自然物から受けるという。植物を観察したり、雲や太陽を眺めたり。同じものが一つとしてないところが和田さんの心に留まる。

一枚板を彫り出して箔加工した木彫作品を見せていただいた。乾燥して縁が内側に丸まった落ち葉をモチーフにしたというその作品は、葉脈が隆々と走り、なぜか肉感的で、生命力を感じさせる。感性のままに制作した作品からは、物腰が柔らかく落ち着いた雰囲気のある和田さんの、内に秘めた情熱的な部分が現れているようだ。ジュエリーのデザインには自身が気に入っている額縁のモチーフを落とし込み、より巧緻に表現されたものだった。造形作品もジュエリーも、額縁職人としての技能に感性を加えて、芸術作品に昇華させている。

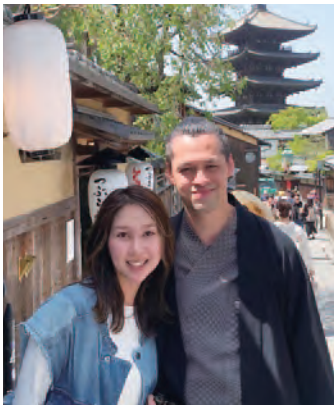
取材時、コラボレーション展を控えていた和田さん「モノづくりを通じた出会

いの中で、自分がどのように協力できるか、自分を試されているようで刺激になる。それが「楽しい」と話してくれた。職人として、芸術家としてモノづくりをしている和田さんのこれらの作品も楽しみだ。

わだ
和田 誠之さん

(文) 広報事業委員 宮田 なぎさ

写真 山口 貴史)



「わが家の常識」

少し前の話だが、中学生の息子が脚の骨を折り、一ヶ月ほど安静になった。学校の授業はオンラインでなんとかなったものの、定期テストだけは松葉杖をつき登校することに。学校まで、数日、送り迎えをした。

最終日の放課後、教室についてみると息子と若い女性の先生がいた。もしや保護者の迎えが来るまで待ってくれたのか。遅刻したわけではないが、僕はとりあえず謝った。

すると、「ははは、なんで？」という答えが返ってきた。

ためぐちである。どこかのユーチューバーよろしく、初対面のためぐちである。中学校の先生がまさかとは思ったが、息子や妻に聞いてみると、この先生はいつもそんな感じなのだとか。一体、新人教育はどうなっているのだ。

だが、必ずしも僕の怒りは正しいともいえないようだった。ネットで調べてみたところ、ためぐちのほうが話しやすいという保護者が少なからずいた。それも、若い両親に限った意見ではない。そのほうが相談事がしやすくていいのだとかなんだとか。

「常識」というやつも、最近はいろいろ怪しくなってきたなあとモヤモヤ考えていたら、ふと数年前の夕飯時を思い出した。家族でカレーを食べていたときのこと。ごはんを皿の右側に盛るか、左側に盛るかという話で盛り上がった。

伊藤たかみ

ただ。

ちなみに右利きの僕はごはんも右側がいい。ルーが左にあるほうがスプーンですくいやすく、最後までごはんをきれいに食べられる。万が一にでも袖をルーで汚すことだってない。

ところがうちの妻と息子は、左ごはん派だった。そもそもお茶碗は左に配置するのが正しいというのがその理由

伊藤たかみの

十六たいだええわさ



Vol.24

1971年生 上野高校出身、早大卒 小説家
 「八月の路上に捨てる」(文藝春秋)で第135回芥川賞。
 「さぶそん」(ポプラ社、坪田譲治文学賞)など児童書も手がける。

らしい。よもやそんな考えがあるとは思いつきもしなかった。

左にごはんというのは和食の話でカレーはインド料理だ、いやいやカレーライスとは和食だなどと面白がってあれこれ話したあと、世間の意見を調べようとこれまたネットをのぞいてみたところ、某大手新聞社が実施したアンケートを見つけた。今はもうその記事を再確認できないのだが、いつも使っているメモ帳によれば、58パーセントという結果が載っていた、とある。なんと、ごはん左派が過半数だったのだ！ ごはんを手前とか、全体にルーをかけるとか、特別なスタイルをのぞいて左右どちらかだとすれば、この数値になったそう。

なるほど、個人の常識なんていうのもあてにならないなあとつくづく思った次第だった。

ちなみに現在、うちのカレーは僕の皿だけごはんが右にきている。カレー皿が新しくなり、上下が決まっているタイプに替わったせいだ。それまでの僕は食べる前に皿をくるっと回していたのだが、そうすると見た目のバランスが悪くなるので、妻が気を回してルーをかけてくれているようだ。

まあ要するに、常識なんていうものは人それぞれなのだ……と、まとめたのだけれど、やはり初対面のためぐちだけは嫌いだ。そこは譲らん。

The bottom section contains four comic panels and an advertisement. The first panel shows a character shouting 'キャー!' (Yay!) while holding a microphone, with text: '15周年を迎えたグリオの抱負は? これからも伊賀の元気のために頑張るぐりよ!!'. The second panel shows a character with a microphone asking '伊賀の冠婚葬祭につきものの和菓子は?' (What are traditional Japanese sweets for weddings, funerals, etc. in Iga?). The third panel shows a character with a microphone asking '江戸時代に藤堂藩が上野に建てた藩校は?' (Which藩 school was built in Utsunomiya during the Edo period?). The fourth panel shows a character with a microphone saying 'おしもんですが...' (Hello, my name is...). The advertisement on the right is for Glico's 15th anniversary, featuring the character 'Iga Glico' and text: '15周年を迎えるグリオくんインタビューしてみた!!', '15周年記念イベント『いが☆グリオいちごいちえ』開催 (sat.)', and '場所: 伊賀市文化会館'.

BUNTO EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

全国各地からグリオ君の仲間が応援に!!
『ご当地キャラ大集合 in 伊賀』 ① 10:15~ ② 15:30~

いが☆グリオ君のお誕生日を祝い、全国各地から可愛いご当地キャラたちが伊賀市文化会館に大集合! ステージライブや紹介ブースもあってご当地キャラたちと楽しくふれあっちゃおう!

エンタランス特設 STAGE
ご当地キャラ パフォーマンス STAGE
MC 石田洋行、寺岡由実
ご当地キャラたちがパフォーマンスを披露しながらの90分タイム!

11:00~15:30

超豪華キャラ大集合

ぶんとチャイルドクラシックプログラム —おなかのなかから小学生になるまで— 年間スケジュール決定!

おなかのなかからクラシック

■日時 第1回 6月18日(日) 開場11:00 開演11:30
第2回 9月10日(日) 開場13:30 開演14:00
第3回 11月5日(日) 開場13:30 開演14:00

■対象 妊娠中のお母さまと、大人の同伴者2名様まで

2歳になるまでのクラシック

■日時 第1回 6月18日(日) 開場13:30 開演14:00
第2回 9月18日(月・祝) 開場13:30 開演14:00
第3回 1月21日(日) 開場13:30 開演14:00

■対象 0歳から1歳と保護者

わんぱくキッズのクラシック探検隊

■日時 第1回 6月25日(日) 開場13:30 開演14:00
第2回 10月28日(土) 開場13:30 開演14:00
第3回 1月21日(日) 開場11:00 開演11:30

■対象 2歳から年長児と保護者

もうすぐ一年生のクラシック

■日時 3月3日(日) 開場13:30 開演14:00

■対象 年長児と保護者

■会場 伊賀市文化会館

※詳細はチラシ等をご確認ください。

10歳までに聴かせたいクラシック —絵で楽しむクラシック— 年間スケジュール決定!

■日時 第1回 7月2日(日) 第2回 10月1日(日) 第3回 2月10日(土) 開場 13:30 開演 14:00

■会場 伊賀市文化会館

※詳細はチラシ等をご確認ください。

「文化のまちづくり」で連携協定!

(公財)伊賀市文化都市協会(ぶんと)は3月、伊賀市、大阪交響楽団と3者による「文化のまちづくり」推進に関する連携協定を結びました。同時に「クラシックのいろは」でおなじみの指揮者・寺岡清高氏を音楽アドバイザーとして委嘱しました。

協定を機に、3者の連携によって多彩な音楽事業を展開するほか、寺岡氏のアドバイスにより公演の充実を図ることが可能となりました。ぶんとでは、暮らしに音楽がある心豊かな日常を目指して、市民の皆様と共に「音楽による文化のまちづくり」を進めていきたいと思ひます。ご理解・ご協力をお願いします。



ぶんと理事長(左)から寺岡清高氏に委嘱状を交付

BUNTO ART EXHIBITION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

6. 2 (金)

7. 2 (日)

10:00~16:30
(入館は16:00)
火曜日休館

伊賀市ミュージアム青山讃頌舎特別展
上田保隆展 福朗 -FUKURO-

会 場 伊賀市ミュージアム青山讃頌舎
料 金 一般300円 高校生以下無料

[GALLERY TALK]

- ◆「上田保隆から与えられたこと、教えられたこと、そして」
6月10日④ 13:30~ 講師 山本 博一氏
- ◆「ふくろうへの思いと絵を描くたのしみ」
6月18日④ 13:30~ 講師 上田 慎二氏 定員各20名(予約制)
[申込受付] 青山ホール ☎52-1109で受付中



開催中

6.18 (日)

10:00~17:00
火曜日休館

大平和正×中村ミナト -磁場の共振-

大平和正の土の塊を想わせる「陶の球体」と中村ミナトの無機質でエッジの効いた「アルミの彫刻」という、まったく異質な彫刻表現と空間演出をゆっくりとご覧下さい。

会 場 史跡旧崇広堂
料 金 一般 500円 (高校生以下無料)
出 展 大平和正 (彫刻家) 中村ミナト (彫刻家)



関連企画

6. 3 (土)

6.18 (日)

9:00~16:30
火曜日休館

茶碗によるインスタレーション
大平和正「風還元/茶碗」
-茶碗は彫刻VI-



会 場 武家屋敷入交家住宅
料 金 入場無料 ※作品の販売は有料
企 画 大平和正 (彫刻家)

7.14 (金)

8.27 (日)

10:00~16:30
(入館は16:00)
火曜日休館

伊賀市ミュージアム青山讃頌舎 夏の通常展
ちょっと笑えるアート展 ~穉月 明のユーモア~

穉月作品には様々な魅力があります。本物以上に美しく描かれた花、清々しく平和な風景、優しく微笑む仏や石仏などどれも素晴らしいのですが、そこにちょっとユーモラスで可愛い表現が加わるところが魅力です。ほんとは怖い神様も偉いお坊さんも絵の中ではひょうきんでちょっと可愛く描かれています。今回は、そんなユーモラスな部分に焦点を当て展示致します。夏のひと時、涼しいミュージアムで楽しいひと時をお過ごしください。

会 場 伊賀市ミュージアム青山讃頌舎
観覧料 一般300円 (高校生以下無料)
■ギャラリートーク「穉月作品の絵解き」
8月5日④・8月12日④ 13:30~ 各先着20名 (予約不要)
■ワークショップ「夏休み工作教室・飛ぶおもちゃ」
7月22日④・7月29日④ 10:00~12:00 定員各10名 (要予約・小学生以上・参加費500円) ※観覧料は別途必要
【申込受付】6月24日(土) 10:00から青山ホール ☎52-1109で受付



穉月 明「いつも三月華の頃」

■親子でなぜぞ「見つけてみよう」
絵の中の人は誰?何してるの?など絵を見るポイントをクイズにしました。みんなで謎解きをしながら絵を読み解きましょう。

7.22 (土)

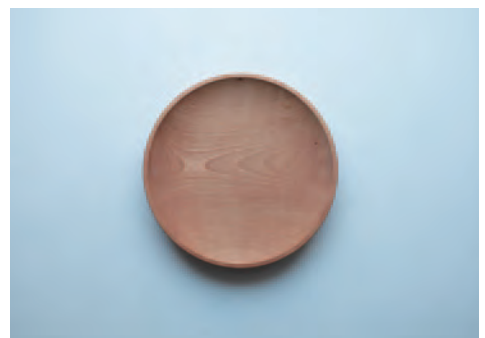
8. 6 (日)

9:00~17:00
最終日16:00
火曜日休館

生活工芸展 2023

全国で活躍する工芸家の器やオブジェが一堂に集結します。今展は史跡旧崇広堂と入交家住宅の2会場に分け、史跡旧崇広堂では展示販売、入交家住宅では出展作家の作品展示を行います。日本で受け継がれし工芸品を生活の一部とし、日本の器文化、工芸文化の魅力を感じてください。

会 場 史跡旧崇広堂
入場料 無料 ※作品の販売等は有料
出 展 全国の工芸作家約70名
共 催 gallery yamahon 山本忠臣



なるほど〜クラシック ロマン派音楽の楽しみ Vol.5 〜ロマン派音楽の名曲に迫る〜

「クラシックのいろは2023」をわかりやすく鑑賞するための無料レクチャー！この講座を受けると、より一層コンサートを楽しめること間違いなし！！

Vol.23 標題付きの名曲を味わう 〜劇的で色彩的な管弦楽法を駆使して〜

講師：鳥居明夫

(伊賀コミュニティオーケストラ指揮者)

■日時 7月8日(土)
14:00~

※1時間程度

■会場 伊賀市文化会館
多目的室

■料金 無料
(事前申し込み不要)



TOUCH THE STEINWAY

憧れのスタインウェイが弾ける

■青山ホール 7月2日(日)

■あやま文化センター 8月5日(土)

開催時間 各日 10:00~17:00

■演奏時間 30分

■参加費 1枠 500円 ※1枠2名まで

・青山ホールは2台のピアノ同時演奏も可能

参加費 1枠(60分) 2,000円

※1枠4名まで

■募集人数 各14枠

※先着順とし、定員になり次第締切

■申込方法

6月17日(土) 11:00 から電話受付

●青山ホール ☎52-1109 (水曜休館)

●あやま文化センター ☎43-1125 (月曜休館)

※受付初日は1回のお電話で2枠までの受付とします。

※音楽教室のレッスンや発表会としての利用はできません。

※申込者以外の演奏や舞台・客席への立ち入りはご遠慮ください。

※楽器等の持込みはご遠慮ください。

第54回 チャリティコンサート

■日時

7月23日(日)

開場 13:00 開演 13:30

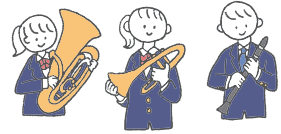
■会場 伊賀市文化会館
さまざまホール

■料金 500円

■チケット取扱い場所
各中高吹奏楽部
伊賀市文化会館

■共催 伊賀吹奏楽連盟
伊賀市文化都市協会

■問合せ先 TEL21-9628
(上野高等学校 藤永)



ぶんとキッズ・アカデミー 目指せアーティスト

モノづくり等を楽しみながら様々な芸術に親しむ機会です。
この機会に、芸術の扉をひらいてみよう!!

■日時 8月5日(土)

①10:00 ~ 11:30 ②14:00 ~ 15:30

■会場 伊賀市文化会館内 各会場

■料金 1講座1,000円

■対象 小学生

■定員 各10名

■講師 廣重 明(版画家・現代アート作家)

中野 真里(染色作家)

川瀬 皓平(竹あかり演出家)

■応募方法 詳しくはチラシまたはホームページを
ご覧ください。

こと 子ども和楽器体験事業 箏に挑戦! 参加者募集!

日本の伝統的な楽器"箏(こと)"に挑戦!
受講の成果を最終日にはホールで発表します。

■日程 ①8月6日(日)、②8月20日(日)、③8月27日(日)

④9月3日(日)、⑤9月10日(日)、⑥9月17日(日)

⑦9月24日(日)、⑧10月14日(土)

⑨10月15日(日) 発表&コンサート

■時間 <午前の部>10:00 ~ 12:00・<午後の部>14:00 ~ 16:00

■場所 あやま文化センター

■定員 各部10名(全20名)

■対象 小学3年生~中学3年生

■料金 1人6,000円(箏の爪代を含む)

■申込 7月1日(土)~7月21日(金)

Googleフォーム【右記QRコード】
★1回のお申込みで1名まで、
応募多数の場合は抽選します。
詳しくはチラシをご確認ください。



ノルディックウォーキングを体験してみよう!

ノルディックウォーキングとは、両手に専用ポールを持って歩くウォーキングエクササイズ。ポールを使うことで、上半身の筋肉も使用する全身運動になり、高い運動効果が期待できます。

インストラクターが歩き方やポールの使い方
方をレクチャーしますので、初めての方も安心してご参加ください。



■日時 7月13日(木) 9:30 ~ 11:00
(受付9:00~)

■場所 しらさぎ運動公園周辺(伊賀市下友生3032)
※雨天時は多目的グラウンド内で開催

■料金 200円 ※ポールの貸出は無料

■定員 30名 ※先着順(定員になり次第締切)

■申込 6月15日(木)10:00から
☎24-1184で申込受付

NEW ぶんと★チャイルドスポーツ体験 〜親子遊び体操〜 開講!!



親子遊びはお子様の成長に欠かせないコミュニケーション能力を伸ばし、同時にこれから必要な運動機能の基礎を作ります。お気軽にご参加ください。

■場所 阿山B&G海洋センター(伊賀市川合3376-7)

■日時 1期 7月~9月 第2・4水曜日 10:00 ~ 11:00

①7/12 ②7/26 ③8/9 ④8/23 ⑤9/13 ⑥9/27

■料金 4,500円(6回分) ※初回に徴収します。

■定員 20組程度 ※先着順(定員になり次第締切)

■対象 よちよち歩きから3歳半くらいまでのお子様と保護者

■指導者 三重県幼児体育研究会フルーツバスケット指導員

■申込 6月21日(水)10:00から

☎24-1184で申込受付

編集後記

新しい年度が始まりました。我々広報事業委員、事務局とも気分一新、新たなステージに力強く一步を踏み出します。

149号からは創刊から数えて3人目の委員長が新たに「ぶんと通信」編集の舵を取ることにになります。きっと何か新しい、素敵なことが始まる予感がします。

また、本年度は、令和元年に策定された「文化振興条例」と「文化振興ビジョン」を受けた実行計画である「伊賀市文化振興プラン」の実現に向けて、各公益文化団体が本格的に、加速度を増して活動する年になりそうです。「ぶんと通信」も文化芸術の鑑賞・体験機会や人材育成のための情報発信を通して、しっかりと寄与できるよう努めていく所存ですので、引き続き温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。
(広報事業委員 菊野 善久)

BUNTO TICKET

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

6月18日(日) 開場 13:30
開演 14:00


ぶんとチャイルドクラシックプログラム
第1回 2歳になるまでのクラシック

出演者 四家絵捺(ヴァイオリン) 大瀬雅子(ピアノ)
山本かずみ(司会)

■会場 伊賀市文化会館

料金 自由 発売中

大人 500円・子ども 100円



6月25日(日) 開場 13:30
開演 14:00

ぶんとチャイルドクラシックプログラム
第1回 わんぱくキッズのクラシック探検隊

出演者 白水大介(トランペット) 梅本貴子(クラリネット)
森玉美穂(ピアノ) 山本かずみ(司会)

■会場 伊賀市文化会館

料金 自由 発売中

大人 500円・子ども 100円



6月28日(水) 【昼の部】開場 14:30 開演 15:00
【夜の部】開場 18:30 開演 19:00

TAIRIKプロデュース
古澤 巖の品川カルテット Concert2023 in伊賀

出演者 古澤 巖(ヴァイオリン) TAIRIK(ヴァイオリン)
高木慶太(チェロ) 福田悠一郎(ヴァイオリン)

■会場 伊賀市文化会館

料金 指定 発売中

一般 5,500円・SaMaZaMa Club会員 5,200円




7月1日(土) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.38
歌舞音楽~19世紀・サクソフォンの誕生~

出演者 上馬場啓介(SSax) 中 桃子(ASax)
森下夕貴(TSax) 玉田敏洋(BSax)

■会場 伊賀市文化会館

料金 自由 発売中 500円



7月2日(日) 開場 13:30
開演 14:00


第1回 10歳までに聴かせたいクラシック
一絵で楽しむクラシック

出演者 岡本伸一郎(ヴァイオリン) 細田昌宏(ホルン)
金井悠(チェロ) 十川朋子(ピアノ) 迎肇聡(テノール)
山際きみ佳(メゾソプラノ) 山本かずみ(司会)

■会場 伊賀市文化会館

料金 指定 発売中

大人 1,000円・子ども 500円



7月9日(日) [1部] 開場 11:30 開演 12:00
[2部] 開場 15:00 開演 15:30

吉本新喜劇&バラエティ in伊賀
大人気の吉本芸人たちが伊賀市文化会館にやってきます!

出演者 吉本新喜劇 座長:酒井雄、未知やすえ、吉田ヒロ、諸見里大介、信濃匠夫ほか
バラエティ 西川のりお・上方よしお、パンクブーブー、サバンナ八木
スーパーマロードーナ、SGAP、もりやすパンピガロ

■会場 伊賀市文化会館

料金 指定 発売中

一般(4歳以上) 4,800円・SaMaZaMa Club会員 4,500円
※3歳以下は保護者1名につき、お子様1名まで膝上鑑賞無料(席が必要な場合は有料)



7月17日(月・祝) 開場 14:30
開演 15:00

クラシックのいろは 2023 ダイナミックに劇的に!
指揮・ナビゲーター:寺岡 清高 管弦楽:大阪交響楽団

■会場 伊賀市文化会館

料金 指定 発売中 自由 (Vol.1~Vol.3各1公演)

・3回セット券 7,500円
[販売期間4/8(土)~7/17(月・祝)]
・単発券3,300円 ※Vol.1の単発券販売はありません。

・一般 3,000円
・SaMaZaMa Club会員 2,800円
・高校生以下 800円
・ペアチケット 5,000円
※※就学先入場不可



7月23日(日) 開場 13:30
開演 14:00


Experienced Lady's Concert Vol.2
エンリガーレコンサート~大切にしたいもの~

出演者 久保田道子(ソプラノ)
藤原靖子(メゾソプラノ) 橋本宏美(ピアノ)

■会場 青山ホール

料金 自由 発売中

一般 1,000円・SaMaZaMa Club会員 900円



8月12日(土) 開場 13:30
開演 14:00


0歳からのファミリーオーケストラ
~だいすけお兄さんと遊ぼう~

出演者 松元宏康(指揮) 横山だいすけ(ゲスト)
大阪交響楽団(管弦楽)

■会場 伊賀市文化会館

料金 指定 6/17(土) 発売 会員先行6月10日(土)~12日(月)

一般 3,000円・SaMaZaMa Club会員 2,800円・子ども(3歳~小学生)1,500円
※2歳以下は保護者1名につき、お子様1名まで膝上鑑賞無料(席が必要な場合は有料)



9月3日(日) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.39
ピアノ・ジョイントリサイタル

出演者 目加田美桜(ピアノ)
渡部 陽翔(ピアノ)

■会場 伊賀市文化会館

料金 自由 7/1(土) 発売 500円



※⑤~⑧BUNTO TICKETの事業は、伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。

ホールこれから情報

校正時点での情報です。催しについては、それぞれの催しの主催者へお問い合わせください。

伊賀市文化会館				
日付	催物名	入場料	主催/問合せ先	
6月 4日(日) 13:00	民謡やよい会 第33回発表大会	無 料	民謡やよい会 ☎0595-23-7617 (中野)	
6月24日(土) 13:30	いきいき未来いが2023	無 料	伊賀市男女共同参画ネットワーク会議・伊賀市 ☎0595-22-9632伊賀市男女共同参画センター (井上)	
あやま文化センター				
日付	催物名	使用場所	入場料	主催/問合せ先
6月18日(日) 13:00	ポーコ・ア・ポーコ・コンサート	ホール	無 料	☎090-7670-8823 (渡邊)
青山ホール				
日付	催物名	入場料	主催/問合せ先	
6月11日(日) 10:00	第47回 名張ピアノコンクール	無 料	名張文化協会 ☎0595-64-2132	

(お問い合わせ) (公財)伊賀市文化都市協会 ☎0595(22)0511 Fax0595(22)0512 http://www.bunto.com
伊賀市文化会館 ☎0595(24)7015 青山ホール ☎0595(52)1109 あやま文化センター ☎0595(43)1125

今回の発行は2023年8月1日号になります。